

活動報告

団体名	NPO 法人 NPO カタリバ
活動名	熊本県益城町の子どもの心のケアと学習支援を行う居場所づくりの活動
活動期間	2016年6月～2017年9月
活動の成果	NPO カタリバは、東北で運営しているコラボ・スクールの経験を活かし、益城町に3校目のコラボ・スクール「ましき夢創塾」を設立しました。夢創塾は、教育委員会、中学校と協力し合い子どもたちの学びを創出しています。主な活動として学校や仮設団地など子どもたちの日常に近い場所で、学習支援とキャリア学習支援の2種類の支援を行なっています。学習支援では、全国からのボランティアと一緒に子どもたちの学習機会や心の居場所を作り、学校や仮設団地での学習会は、合計560回、のべ4200名の子どもたちが利用しました。特に仮設住宅の子どもたちは、仮設住宅の間取りを理由に、学習時間の減少が心配されています。学習会ではボランティアが、「ナナメの関係」と「本音の対話」を意識し、子どもたちの心のケアの面でも支援を継続しています。キャリア学習では、震災による機会損失を防ぐ目的もありますが、震災前よりも多様な機会を創出できたらと考え、学校と協働し職場体験等のプログラムを実施しています。
寄付者へのメッセージ	熊本地震に対する報道もされなくなり全国的な感心は薄まってきています。継続して活動を続ける団体も減り続けています。仮設の入居期間は原則2年間と決まっていますが、熊本地震では今も約1万8000戸の仮設で被災者が暮らしています。災害公営住宅の建設もまだ先のため、仮設住宅の期間を1年間延長することが国の方針として決まりました。益城町には未だ先の見えない生活環境の中で不安を抱えている子どもがいます。カタリバは、子どもたちが「震災があったから、夢をあきらめた…」そんな想いを抱かせないために、これからも益城町での活動を継続していきます。これからもご声援よろしくお願いたします。

(活動のようす)

